

2026年の終了したイベント

終了イベントリスト（古い順に①から）

⑤HAZOPとLOPA手法修得セミナー 10月16日

④ノンテクニカルスキル講座 9月3日

③第1回安全懇話会 7月17日

②web 第17回行動特性研究会のご案内 7月9日

①初めてのノンテクニカルスキル教育講座（HP開設記念）

-----以下イベントの詳細-----

⑤HAZOPとLOPA手法修得セミナー 10月16日

防護層解析（Layer of Protection Analysis :LOPA）は、米国化学工業協会（AIChE）が設立した化学プロセス安全センター（CCPS）が考案した手法である。一つのリスク低減措置を独立防護層（Independent Protection Layer, IPL）とし、IPLが突破される確率の積から結果（火災、爆発等）の発生頻度 $[1/y]$ を求め、残存リスクをALARPするための追加のリスク低減措置を決定するとして用いられます。

例えば、オランダでは主に BowTie Analysis、アメリカでは主に HAZOP によって事故シナリオを洗い出した後、特に被害が大きいシナリオは LOPA に進み、予め定められた残存リスクの許容レベルを満たすのに必要な IPL の追加、トリップシステムの SIL(安全度水準)を決定する事が行われています。

近年、日本でも LOPA を実施している企業が増えてきたものの、LOPA の経験が無い企業や事業所にとっては、いまだに LOPA とは何か、なぜそれが重要なのが分かってもらえず苦労しているという意見が多く寄せられています。

LOPA の必要性が知られるようになるとともに関係者の関心が高まり、一度試しに LOPA を行ってみたいという方、演習で HAZOP と LOPA を組み合わせて行ってみたいという希望が数多く寄せられるようになりました。

講師として、元昭和四日市石油（株）の 田邊卓也氏をお迎えして開催いたします。

このセミナーは、そのようなご要望にお応えするため、プロセス安全マネジメント及びリスクアセスメント/PHA（Process Hazard Analysis）の先駆的活動を知っていただき産業界

全体のレベルアップを目的として、南川行動特性研究所が企画・実施する試みです。

Web 講義開催日：2026 年 10 月 16 日(金) 13：30 から 16：40

主 催：南川行動特性研究所

対 象：製造部門、工務部門、環境安全を問わず下記の方

- 1) HAZOP と LOPA を組み合わせた PHA を修得したい方
- 2) HAZOP と LOPA を組み合わせた PHA を社内に普及させたい方
- 3) HAZOP, BowTie, LOPA, 多重防護層を深く理解したい方
- 4) 追加リスク低減措置の優先度を決定し、安全投資予算化の実務に従事している方
- 5) プロセス安全管理の重要性を教える指導的立場の方
- 6) 本手法も含めリスクアセスメント全般の運用のこつを知りたい方

内 容：

- 1) リスク管理とは何か・・・・・・・・30 分南川

- 2) HAZOP と LOPA を組み合わせた手法を知る・・・・・・・・30 分田邊

休憩 10 分

- 3) 模擬の化学プロセス装置を題材（異なるプラスチックの微粉の混合設備での静電気着火のリスクに関して当日プロセスの説明と作業手順書をします）にし、講師、事務局、書記の 4 名が Zoom 上で HAZOP/LOPA 演習を解説しながら、実施しますので、見学していただきます。

※演習は、ワークシート作り/事故発生頻度計算に要する時間を短縮して討議時間をできるだけ多く確保するため、書記役はパソコンで、株式会社 構造計画研究所が販売する PHA 実施支援ソフトウェア (PHA-Pro) を借りて入力していく。・・・・・・・・50 分

休憩 10 分

- 4) 発生頻度 (Initiating Event Frequency) の算出方法

認定事業所の審査の指摘の中に「CCPS の IEF でなく自社の IEF を算出できないか」の指摘に対応できる内容です。・・・・・・・・30 分田邊

- 5) リスクアセスメントの中でリスク低減の PDCA に必要な事及び運用のこつは何か・・・・・・・・20 分田邊

質問はコマ終了時にその都度できる。

- 6) 総合質疑・・・・・・・・16：40 ごろまで

内容は予告なく変更される場合がありますが、ご承知おきください。

Web 講義開催日：2026 年 10 月 16 日(金) 13：30 から 16：40

Zoom で開催

最初の 1 時間でプロセス安全マネジメントと LOPA の基礎の説明

次の 1 時間で HAZOP/LOPA 演習のデモ見学

残る時間で、LOPA の例示講座と運用のこつ他と質疑応答

講 師：

田邊卓也氏（元昭和四日市石油）

南川忠男氏（南川行動特性研究所）

募集人員：50 名

受 講 料： 22000 円（税込み）事前振込。お申し込み後、請求書と定常 HAZOP 及び手順 HAZOP 演習用にプロセス説明と P&I を送付します。

同一拠点で 3 名同時お申込みの場合プロジェクターに接続し、3 名の参加費で大勢が視聴できる優遇制度があります。（お申込み時申告する）

④ノンテクニカルスキル講座 9 月 3 日

近年、様々な分野でノンテクニカルスキル起因の事故の割合が増大しており、更に組織要因も増大している。組織行動の見地から安全文化に影響を与える心理的安全性などについては組織経営の要素と深いつながりがあります。今回のノンテクニカルスキル講座ではリーダーシップについてその専門家の方にオンデマンドで講義していただき、

2023 年に提唱された概念ノンテクニカルスキル 2.0 に基づいた新しい教材「スモークリーリーダーシップとワークエンゲージメントの評価いわゆる LE マップ」の教育実施例及びその評価解析も発表されます。又、新 KK の導入会社も 31 社に上り、その数社はクラウド診断システムに自己評価をアップロードされました。その解析結果も社名を伏せて報告します。

実施日：2026 年 9 月 3 日（木） 13:30 から 16:00 Zoom 開催

講習内容：

- 1) 「コレクティブリーダーシップの有効性～トラブル防止のために～」
立命館大学 教育開発推進機構 藤本 学教授
基調講演 70 分 （オンデマンド配信）
- 2) 上記のオンデマンド講義を聞いてお寄せいただいた質問に答える
・・・ 30 分 藤本 学教授
- 3) LE マップの概要及び取り組みの実例
・・・ 30 分 ENEOS(株) 堤 克一路氏
10 分休憩
- 4) 新 KK のクラウド上の平均値などの解析結果と今後の課題

40分 南川行動特性研究所 南川 忠男

オンデマンド配信日：1)の配信日：8月3日10時から9月5日23時の間

上記1)の基調講演はオンデマンド配信で開催日の1か月前から2日後までの約1か月間配信されます。その講演を視聴してご質問を8月23日までにお寄せください。
(下記南川かお問い合わせ先へ「コレクティブリーダーシップの有効性に関する質問の提出」の表題で)採用された質問5問に開催日に2)で藤本教授がお答えします。

1)「コレクティブリーダーシップの有効性～トラブル防止のために～」の要旨

本講演では、化学プラントや医療など、高度な専門性と役割分担が求められる現場を対象に、ノンテクニカルスキルとコレクティブリーダーシップ行動(CLB)の関係を整理する。さらに、異常の兆候を伝え、受け止め、確認し、補い合う影響行動が、心理的安全性を高め、安全文化の醸成につながるプロセスを解説する。その上で、作業前確認、申し送り、非定常作業、振り返りへの応用を通じて、CLBを現場に定着させる方策を提案する。

場 所：web (Zoomにて実施)

③第1回安全懇話会 7月17日

Technical Safetyの実践知

ー 産業界のグッドプラクティスをいかに実装するか ー

日時：2026年7月17日(金) 15:00～16:30

開催方法：Zoom

参加費：無料

プログラム：15:00 講演開始

話題提供 40分 休憩 10分の間にZoomのChatに質問・意見を記載

質疑応答と意見交換 30分 (口頭質問もOK)

話題提供：田邊 卓也氏 (元昭和四日市石油)

今回のテーマ

安全について考えるとき、規格や基準を知ることはもちろん重要ですが、実際の現場では「分かっているのに、うまく実装しきれない」という場面も少なくありません。今回は、そうした点を Technical Safety という視点から整理し、設計・防護・運用のそれぞれの側面

から、独立防護層の成立条件や、規格・指針と現場の現実のあいだにあるギャップについて考えます。確かな安全を社会に実装するあり方を共有する場になればと思います。

主な話題

- Technical Safety をどのように整理すると実務で使いやすいか
- Design / Protection / Operating の視点から見た安全実装
- 独立防護層は、どのような条件で“成立している”と言えるのか
- 規格・基準・推奨事項と、現場での実装とのあいだにあるギャップ
- 設備分野を横断して見えてくる共通論点

参加をおすすめしたい方

- 化学プロセス産業における安全実務に携わる方
- 設備安全設計の実務に携わる方
- 安全監査、審査、調査に携わる方
- 安全管理、設備保全、運転管理に関わる方
- 他分野のグッドプラクティスからヒントを得たい方
- 規格対応にとどまらず、実装としての安全を考えたい方

取り上げ予定の設備・テーマ

塗装設備／溶接／粉体設備・集塵機／加熱炉・乾燥炉／鋳造設備／金属圧延設備／切削加工
／物流倉庫／発電所／半導体工場／消防設備・消防ポンプ

備考

配布 PDF はございません。

②web 第 17 回行動特性研究会のご案内

近年、様々な分野でノンテクニカルスキル起因及び行動特性起因の事故の割合が増大していることが注目されており、化学・石油・電力等のプラント・オペレーションの分野では、社内教育に取り入れられ始めました。

この研究会は、そのようなご要望にお応えするため、全産業分野を対象にしたノンテクニカルスキル起因・行動特性起因の事故抑制についての知見の交流とレベルアップを目的として、企画・実施するものです。

ノンテクニカルスキル教育の中でも意見交換をする演習をプログラムに組み込むことは有用性が高い。体験教室の中に分かれ道演習、あなたならどうする演習、動物当てゲーム、レゴ組み立て演習、優先度付け演習があります。又、各教室にもそのテーマに沿った約 2 問のあなたならどうする演習が付属しております。今回 特集的にその演習の有用性や実施の事例、演習を成功させるコツについて発表され、演習の実演を致します。2016 年の初回

からすでに今回で 17 回目を数えることになり、皆様のご支援に感謝申し上げます。

開催日：2026 年 7 月 9 日（水） 13:30 から 16 : 00

場 所：web

テーマ：意見交換演習の進め方と課題

講習・発表内容：質疑応答時間含む

- 1) 演習を取り入れた教育事例の紹介 55 分

ENEOS(株)	堤 克一路氏	30 分
花王(株)	山下 三晴氏	10 分
荒川化学工業(株)	石井 秀樹氏	15 分
- 2) あなたならどうする演習の有用性と教育プログラムへの入れ方及び
設問のコツ 30 分
休憩 10 分
- 3) 右脳と左脳をつなぐ教育の仕方
南川行動特性研究所 南川 忠男氏 15 分
- 4) あなたならどうする演習の実演 2 題 30 分
 - ・部下が完成した書類を持ってきたが少し違った件・・・1 問
 - ・お客様へのプレゼン資料の作成が遅れているスタッフへの対応・・・1 問下記 3 人が online 上で演習します。

ENEOS(株)	堤 克一路 氏
花王(株)	山下 三晴氏
南川行動特性研究所	南川 忠男氏
- 5) 総合質疑応答 16 時頃まで

あなたならどうする演習について

より意見交換密度の高い参画度が高くなる 3 人一組の演習をあなたならどうする演習と呼びます。分かれ道演習のように 6 人で一斉に意見交換すると、意見が少ない方もいるし、長く話す方もおり、結果として意見交換時間が長くなった。本来の意見交換を通じての他者の視点の内化を目指すには時間が有効に使えないことがあった。そこで三人組に分けた。更に特徴としては役割が変わって意見交換ができることである。（詳細は発表内容 3）で発表されます）又、ノンテクニカルスキル教育においてはずっと座学よりこのような演習をいれるのが受講者の腹落ち度合は向上する。

分かれ道演習について

「分かれ道」演習は、カードを用いた演習形式による教育教材です。

課題を自らの問題として考え、YES か NO か過去の自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら演習を進め、発表してもらい、その後の講師による解説 を通じて再発防止策の理解を深めてもらう。

参加費：おひとり 税込み 5500 円

① 初めてのノンテクニカルスキル教育講座（HP 開設記念）

ノンテクニカルスキル教育が初見の方々への無料のオンデマンド配信です。Vimeo 配信は 6 月 25 日（木）10 時から 7 月 7 日（火）10 時の 12 日間です。下記目次で 40 分間の視聴になります。

1. ノンテクニカルスキル教育の目的と概要
2. ノンテクニカルスキル教育の意義
3. 事故原因の推移
4. 事故発生のスイスチーズモデルの基本形・応用形
5. 自己を知れば事故は減る・・・行動特性の自己評価 自己認識の強化が事故を減らす
6. チームヒューマンエラー防止教育（一例） 言い出す勇気をもとう！！
7. ノンテクニカルスキルとテクニカルスキルの作用概念図